

会 議 録

会議の名称		令和7年度第3回学園の森義務教育学校コミュニティ・スクール協議会		
開催日時		令和8年2月19日(木) 開会 14:00 閉会 15:30		
開催場所		つくば市立学園の森義務教育学校多目的室		
事務局(担当課)		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	柴崎 弓子 石黒 正美 中原 正人 山崎 裕一 永井 英夫 田村 俊介 富江 晃 加藤 光枝 三浦 健一 村上 義孝 池邊 晃子 谷上 智子		
	その他			
	事務局	教育局生涯学習推進課 地域連携教育指導員 酒井 和宏		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由				
議題		熟議①「家庭と地域で連携したいじめの未然防止」 ②「令和9年度 10周年記念事業案について」		
会議録署名人			確定年月日	令和 年 月 日
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 協議 (1) 第2回学校評価アンケートについての報告、学校の取組紹介 (2) 熟議①「家庭と地域で連携したいじめの未然防止」 ②「令和9年度 10周年記念事業案について」 4 閉会			

<審議内容> 1 開会 村上会長

ただ今から、令和7年度第3回学園の森コミュニティ・スクール協議会を開会する。

はじめに、会議を進行するに当たり書記を決めたい。学園の森義務教育学校三浦委員にお願いしたい。→ 承認

2 挨拶

村上会長

それでは、はじめに、会長の私から御挨拶させていただく。

→会長挨拶

続いて、学校長の永井委員に御挨拶お願いしたい。

→学校長挨拶

前回会議内容の確認

村上会長

本日の学園の森コミュニティ・スクール協議会の熟議等に入る前に、まずは第2回の会議内容について、要点を踏まえて振り返りをしたい。

- ① 生徒会役員である学園生による熟議の参観
- ② 第1回学校評価アンケートの結果についての報告
- ③ 「地域・学校・保護者で育てていきたい非認知能力」

などについて話し合った。

なお、詳しい内容に関しては、つくば市教育委員会ホームページに掲載されるので御確認いただきたい。

3 協議

(1) 学校評価アンケートについての報告

池邊委員

第2回学校評価アンケートの報告

肯定的な回答が8割以上になったものが16項目であった。特に以下の項目は、1回目に比べ肯定的回答が7割から8割へと向上した。

7. 体験的な学習や外部人材の活用など、人と豊かに関わる学習を行っている。
14. 教育活動を工夫し、子供たちの体力の向上に努めている。
16. 子供たちの悩みや相談を受け止め、丁寧に対応している。

改善が必要な項目と今後の方策は以下のとおり

5. 子供は家庭学習をよく行っている。
 6. 子供同士が学び合い、高め合える授業づくりをしている。
- 自由記述で多く寄せられた御意見については以下のとおりである。
- ・授業参観について
 - ・交通安全指導について
 - ・部活動について

三浦委員

学校の取組紹介

SDGsクラブ、生徒会による諸活動、持久走・駅伝など

村上会長：ただ今の件につきまして、御意見や御質問があればお願いしたい。

(質疑応答)

石黒副会長：交通安全指導についてはどういった声があるか。

池邊委員：

- ・下校後のキックボードなどでの遊び方についてなどがある。
- ・何かトラブルがあれば見に行っている。
- ・地域の人をお願いをするなど良い方法はないかと検討中である。
- ・何か連絡があった場合は緊急メールでお知らせをしている。
- ・教員が外に出る必要がないという指導は受けている。
- ・地域の方の見守りが必要だと考えている。
- ・低学年は下校時のトラブルが多いので、来年度への課題だと考えている。

村上会長：予算は使いきれそうか。

池邊委員：消耗品が未払いのところはありますが、使いきれの予定である。

(2) 熟議

村上会長

これより熟議に入りたい。熟議を進行するにあたり、ファシリテーターとして田村委員に入っていただきたい。

- ・熟議 テーマ①「家庭と地域で連携したいじめの未然防止」
②「令和9年度 10周年記念事業案について」
- ・各グループでの熟議約30分間

Aグループ（発表者：田村委員）

①について

道徳の教科書よりも実際の社会で起きたことをテーマ

→考えて議論する道徳について家庭に伝わっていない

→ポジティブな発信をしたい。

→夏休みに家庭でもう一度考えるようアナウンス

②について

子供たちのアイデアを生かした取組をしたい。

Bグループ（発表者：三浦委員）

①について

SSW、カウンセリング、Sルームなど、連携した取り組みをしていきたい。

②について

ギネスにチャレンジ

→何をするかは子供たちのアイデアを生かす。

Cグループ（発表者：中原委員）

①について

どう対応しているかを家庭に示す。
どのレベルで相談できるかを示すとよいのではないか。

②について

地域でギネスにチャレンジ
10年目から未来へ

最後に御出席のみなさんから何かあるか。

池邊委員

本年度の委員の皆様には、これまでより良い学校づくりのアイデアをたくさんいただいた。熟議を通して、多面的多角的な視野から学校づくりを考えることができた。

4 閉会

村上会長

本日の会議の様子を、つくば市教育委員会ホームページにて写真を掲載させていただきます。

令和7年度 第3回学園の森コミュニティ・スクール協議会

日時：令和8年2月19日（水）

14：00～

場所：学園の森義務教育学校

多目的室1

次 第

1 開 会

2 挨 拶

3 協 議

(1) 第2回学校評価アンケートについての報告 学校の取組紹介

(2) 熟議 ①「家庭と地域で連携したいじめの未然防止」

②「令和9年度10周年記念事業案について」

4 閉 会

会 議 録

会議の名称		令和7年度第2回学園の森義務教育学校コミュニティ・スクール協議会			
開催日時		令和7年11月4日（火）開会 14:00 閉会 16:00			
開催場所		つくば市立学園の森義務教育学校多目的室			
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課			
出席者	委員	高野 二男	野堀 憲	中原 正人	
		柴崎 弓子	村上 義孝	田村 俊介	
		石黒 正美	谷上 智子	三浦 健一	
		大槻 真弓	永井 英夫		
		樋口 直宏	加藤 光枝		
		富江 晃	池邊 晃子		
	その他				
	事務局	教育局生涯学習推進課 課長：澤頭 由紀子 教育局生涯学習推進課 参事：山口 健次 教育局生涯学習推進課 社会教育主事 村上 和宏 教育局生涯学習推進課 地域連携教育指導員 酒井 和宏			
公開・非公開の別		<input type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数 0人
非公開の場合はその理由		つくば市情報公開条例第5条第1号（個人情報）に該当する情報を取り扱うため			
議題		熟議「学校・家庭・地域がともに非認知能力を育むために」			
会議録署名人			確定年月日	令和 年 月 日	
会議次第	1 開会 2 授業参観 3 挨拶 4 協議 (1) 第1回学校評価アンケートについての報告 (2) 熟議「学校・家庭・地域がともに非認知能力を育むために」 (3) その他				

5 閉会

<審議内容>

1 開会

池邊委員

本日は、御多用のところご来校いただきましてありがとうございます。会議に先立ちまして、生徒会学園生による「非認知能力」に関する話合いの様子を、御参観いただきたく存じます。その後、こちらの会場にお戻りいただき、14時40分より「令和7年度 第2回 学園の森コミュニティ・スクール協議会」を開始いたします。よろしくお願い申し上げます。

なお、本日は15時から臨時校長会が予定されております関係で、校長は会議には参加できませんが、御理解賜りますようお願い申し上げます。

それでは、学園生による話合いの会場となっております「多目的室3」へご移動をお願いいたします。

2 授業参観

池邊委員

14時40分より「令和7年度 第2回 学園の森コミュニティ・スクール協議会」を始めます。ご準備よろしくお願い致します。

電子黒板の画面に、本日の資料を示してございます。不足している場合は事務局まで御連絡ください。なおこの会議に関しては、つくば市附属機関の会議及び懇談会等の公開に関する条例第3条に基づき、本日の会議は公開とします。授業参観は個人情報に該当するものとして非公開とさせていただきます。

また、会議録については後日つくば市教育委員会ホームページに公開します。規則に基づき会議録には出席委員の氏名及び発言者の氏名を掲載させていただきます。発言者の発言内容につきましても、後日確認の連絡をさせていただくことがありますので御了承のほどよろしくお願い致します。

村上会長

ただ今から、令和7年度 第2回 学園の森コミュニティ・スクール協議会を開会します。はじめに、会議を進行するに当たり書記を決めたいと思います。学園の森義務教育学校 田村委員 をお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

→田村委員 承認

3 挨拶

村上会長

はじめに、会長の私から御挨拶させていただきます。
第2回協議会にお集まりありがとうございます。先ほどの学園生、大変立派な

発表でした。自律の意識をしっかりとっていると感じました。日本では、自分たちの使った場所を掃除するという活動は当たり前と捉えられていますが、外国の方々から見ると、日本の素晴らしいところであるとのこと。私自身、今月は他校の行事になりますが、職場体験学習や職業講話など近隣の学校に協力していきます。

加藤委員

非認知能力育成に取り組んでいます。授業改善、体験活動、探究学習などについて研修を行って研鑽しています。子供たちの成長を日々感じています。学校だけでできることには限界があるので、地域の皆様と子供たちを育ていけるように御協力をお願いします。

村上会長

本日は、学園の森コミュニティ・スクール協議会の熟議等に入る前に、まずは第1回の会議内容について、要点を踏まえて振り返りをしたいと思います。では、進行に戻ります。別紙1（前回の会議録）を見てください。前回の要点をまとめますと

- ①委員の自己紹介から委員長、副委員長選出
- ②学校グランドデザイン説明と教育活動紹介
- ③「地域・学校・保護者で育てていきたい非認知能力」

などについて話し合いました。なお、詳しい内容に関しては、つくば市教育委員会ホームページに掲載されますので御確認ください。

4 協議

村上会長

ファシリテーターを中原委員にお願いします。

→中原委員 承認

(1)第1回学校評価アンケートについての報告

中原委員

アンケート結果の説明。前向きな評価が多い。3～9年生対象。学年が上がるほどに肯定率が下がる傾向がある。授業への取組が高い肯定率である。「授業が楽しい」が若干低い。授業改善の視点も必要である。家庭学習も課題である。他者との関わり合いも、高い肯定率である。「学校が楽しい」学年上がるにつれて下がる傾向がある。

先ほどの学園生、アンケート結果の感想など共有していただき、今後の学校生活について熟議していただきたい。

11月29日（土）13:30から行われる非認知能力の専門家である中山先生の講演会を案内した。

石黒委員

ほぼ全て高水準で素晴らしい。質問番号 11 番、「いじめをぜったいしないようにしている。」肯定率が 100%になるような指導が必要。

(2) 熟議 テーマ「学校・家庭・地域がともに非認知能力を育むために」

・各グループでの熟議約 30 分間

A グループ（発表者：三浦委員）

学園生の意見交換が活発でよかった。学校内外での指導の線引きが大切である。

B グループ（発表者：田村委員）

挨拶が課題である。校内や友人同士の挨拶が盛んになるように引き続き指導する。他校では文化祭にて地域の方のブースも設けるなどして、繋がりを深めるケースもある。

C グループ（発表者：池邊委員）

来年度、何ができるかを中心に熟議した。ゴミ拾いなどはすぐにできる活動である。地域と協力しながら様々な活動に挑戦していきたい。一般企業では「大志→共創→自律」という考えもあることも念頭に置きながら非認知能力の育成に努めていきたい。

D グループ（発表者：加藤委員）

子供たちの課題に対して具体的な対策をどうするか。地域との関わりが希薄なので、民生委員の方の御協力を得ながら関わりをもっていく。学校側の情報開示の方法を工夫する。共創が最も大事である。

(3) その他

最後に御出席のみなさんから何かありますでしょうか。

村上社会教育主事

つくば市社会教育委員会議「地域と共に活性化するためにコミュニティ・スクールはどうあるべきか」答申についてポイントを絞って説明。主な提言は3つ。

P 5 持続可能な体制づくり。例えば教職員中心の運営から、地域住民を中心とした運営へ。台本の簡易化も検討している。

地域と学校の信頼関係の構築。学区が困っていること、人が足りないところなどの共有ができるとうい。

地域人材との連携について。CS だよりを 12 月に発行予定。写真の御協力をお願いすることもある。

次回の開催予定日等について、池邊委員、よろしくお願いいたします。

池邊委員

本年度3回目のコミュニティ・スクール協議会について御連絡します。次回ですが、第3回は学園の森義務教育学校で令和8年2月19日（木）14時00分からの予定です。詳細は、追って御連絡いたします。

5 閉会

村上会長

本日の「協議」の内容は、以上になります。

また、本日の会議の様子を、つくば市教育委員会ホームページにて写真を掲載させていただきたいと思えます。委員の皆様、よろしいでしょうか。よろしくお願いいたします。

以上をもちまして、令和7年度 第2回学園の森コミュニティ・スクール協議会を閉会いたします。

本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございました。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。